

- 問1 足尾銅山鉍毒事件を解決するために尽力した田中正造が行った行動のうち、この事件を広く社会に周知させ、天皇に直接訴えかけようとした出来事を何と呼びますか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 明治天皇への直訴 2. 国会での解散命令 3. 大政奉還の勧告 4. 自由民権運動の演説
-
- 問2 関東地方の産業について述べた次の文のうち、京浜工業地帯の説明として最も適切なものはどれか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 千葉県の東京湾岸に広がり、石油化学コンビナートや製鉄所が集中している。 2. 内陸部の高速道路沿いに工業団地が造成され、機械工業が発達している。 3. 東京都と神奈川県にまたがり、東京湾臨海部の埋立地などに多くの工場が立地している。 4. 愛知県を中心として広がり、自動車産業が盛んで日本最大の製造品出荷額を誇る。
-
- 問3 野菜の産出額が約863億円、果実の産出額が約854億円という高い水準にある千葉県では、東京都などの大消費地に近いという利点を活かした農業が展開されています。このような農業の形態を何と呼びますか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 近郊農業 2. 粗放的農業 3. 促成栽培 4. 抑制栽培
-
- 問4 北海道、秋田県、群馬県、富山県の4道県における農業産出額の内訳を比較した統計において、コメの産出額が全体の1割に満たない一方で、畜産と野菜の産出額を合わせると全体の約8割を占めるという特徴を持つ県はどこですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 群馬県 2. 北海道 3. 秋田県 4. 富山県
-
- 問5 東京都の人口に関する統計において、昼間人口が約1557万人であるのに対し、夜間の常住人口は約1315万人となっています。このように昼間人口が夜間人口を200万人以上も上回っている主な要因として、最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 東京都内に大規模な工場が建設され、夜間に周辺地域へ働きに出る労働者が減少したため。 2. 都心部の再開発により、郊外に住んでいた人々が再び東京都内へ住居を移す「都心回帰」が進んだため。 3. 埼玉県、千葉県、神奈川県などの近隣都県から、通勤や通学を目的として多くの人々が流入するため。 4. 東京都の出生率が周辺の県に比べて非常に高く、若年層の人口が自然増加し続けているため。
-
- 問6 2015年に作成された千葉県浦安市付近の地形図において、中央を流れる河川に架かる橋（地点A）から南東へ進むと、建物が密集し細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る商店街（地点B）があります。さらに地点Bから河川を渡り、北西から東へと進んだ地点Cには、「文」の字を記号化した地図記号があります。この地点Cにある施設として正しいものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 警察署 2. 市役所 3. 小学校や中学校 4. 病院
-
- 問7 関東地方のある県は、製造品出荷額において石油・石炭製品が約26%、化学工業が約23%を占めており、これら2つの産業で全体の約半分に達しています。京葉工業地域の中核を担うこの県として正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 東京都 2. 埼玉県 3. 千葉県 4. 神奈川県
-
- 問8 生産農業所得統計のデータによると、関東地方は農業産額が2兆円を超える国内最大規模の農業地域であり、その内訳において「野菜」が占める割合が約41.5%と非常に高いことが特徴です。このように関東地方で野菜の生産割合が高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める工夫をしているため 2. 広大な十勝平野のような土地を活用し、大規模な機械化による生産を行っているため 3. 山がちな地形を活かして、水はけの良い傾斜地で果樹栽培に特化しているため 4. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度が求められる作物を効率よく供給できるため
-
- 問9 日本の主要な河川のデータをまとめた資料において、ある河川は「長さが322km、流域面積が16,840平方キロメートル、流れる流域の都道府県数が6」と示されています。この河川について述べた文として、背景や影響を考慮して最も適切なものを選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. この河川は、流域面積が日本で2番目に広いため、北海道の泥炭地の地質改良に大きく貢献した。 2. この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。 3. この河川は、山地が急峻な日本の河川の中では珍しく、国際河川のようにゆったりとした流れが特徴である。 4. この河川は、日本で最も長さが長い、上流と下流での降水量の差による増水が全国で最も激しい。
-
- 問10 高度経済成長期に18歳で上京し、25歳で結婚、その4年後の1970年代半ばに多摩ニュータウンの集合住宅へ入居した人物のライフステージを考えたとき、当時の地域社会で起きていた現象の説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 入居時期が地域の出生数のピークと重なり、子供たちのための学校建設などが急ピッチで進んだ 2. 入居時期は1990年代に当たり、バブル崩壊による地価下落で人口が都心へ回帰し始めた 3. 入居当時は高度経済成長前であったため、周辺はまだ農村地帯であり集合住宅は稀であった 4. 2005年ごろの入居であったため、すでに地域の高齢化が進んでおり出生数は最低水準であった
-
- 問11 関東地方の各県を比較した統計データにおいて、千葉県は「飲食料品の小売販売額」では神奈川県や埼玉県を下回るものの、「化学工業製品出荷額」ではこれらの県を大きく上回り、突出した数値を示す特徴があります。このような結果になる理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 長崎県公立入試 類似)
1. 千葉県は成田国際空港を通じた貿易額が多いため、内陸部の工場で生産された化学製品の出荷額が統計上、他県よりも多く計上されるため。 2. 千葉県は近郊農業が盛んであることから、農産物を原料としたバイオテクノロジー産業が化学工業製品として分類され、出荷額を押し上げているため。 3. 飲食料品の販売額は人口規模に比例する傾向があるが、千葉県は東京湾岸に石油化学コンビナートが集中する京葉工業地域を有しているため。 4. 神奈川県や埼玉県は製造業からサービス業への転換が進んだ一方で、千葉県は県内全域で伝統的な重工業の維持を最優先する政策をとっているため。
-
- 問12 栃木県に位置し、明治時代以降の日本の近代化を支える重要な輸出品であった銅を産出した一方で、周辺流域に深刻な被害をもたらした日本初の本格的な公害事件の舞台となった鉱山はどこですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 石見銀山 2. 別子銅山 3. 足尾銅山 4. 釜石鉱山
-
- 問13 栃木県の地形と冬の気候の特色を述べた次の文のうち、誤っているものはどれですか。なお、栃木県内には渡良瀬川や鬼怒川が流れ、北西部には標高の高い山地が連なっているものとします。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 冬の日照時間が長いという気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「いちご」の栽培が盛んである。 2. 冬は南東の海側から吹き込む湿った季節風の影響で、平野部でも毎日多くの降雪が見られる。 3. 夏は南東の海側からの季節風の影響を受け、冬に比べて降水量が多く、雷が発生しやすい。 4. 冬には北西の山地側から「男体おろし」などと呼ばれる乾燥した冷たい季節風が吹き下ろす。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 明治天皇への直訴	栃木県出身の衆議院議員であった田中正造は、足尾銅山から流出する鉱毒によって苦しむ農民を救うため、国会で厳しく政府を追及しました。しかし、政府が有効な対策を講じなかったため、議員を辞職した後に明治天皇へ直接訴状を渡す「直訴」という命がけの行動に出て、公害問題を社会問題として大きくクローズアップさせました。
問2	答え 3 東京都と神奈川県にまたがり、東京湾臨海部の埋立地などに多くの工場が立地している。	京浜工業地帯は、その名の通り「東京」と「横浜（神奈川）」を中心とする工業地帯である。選択肢にある千葉県側は京葉工業地域、内陸部は北関東工業地域、愛知県周辺は中京工業地帯の説明であるため、それぞれの位置関係を正しく把握しておく必要がある。
問3	答え 1 近郊農業	大都市の周辺で、輸送コストを抑えつつ鮮度の高い農産物を供給する形態は近郊農業と呼ばれます。千葉県はこの近郊農業の代表的な県であり、キャベツや落花生、梨などの多様な品目が生産されています。
問4	答え 1 群馬県	群馬県は関東地方に位置し、大消費地である東京圏に近い利点を活かした農業が行われています。統計上、東北地方の秋田県や北陸地方の富山県ではコメの生産割合が非常に高く、北海道では大規模な畑作や畜産が行われますが、群馬県は特に野菜と畜産の産出額が突出して高い割合を占めるのが大きな特徴です。
問5	答え 3 埼玉県、千葉県、神奈川県などの近隣都県から、通勤や通学を目的として多くの人々が流入するため。	東京都は日本の政治・経済・教育の中心地であり、多くの企業や学校が集中しています。そのため、夜間は埼玉県や千葉県、神奈川県といった近隣都県の自宅で過ごしている人々が、日中になると仕事や学びのために東京都へ移動してきます。この通勤・通学に伴う人口移動の結果、東京都の昼間人口は夜間人口（その場所に住んでいる人の数）を大幅に上回ることとなります。
問6	答え 3 小学校や中学校	地形図において「文」の字を記号化したものは、小学校や中学校を表す地図記号です。地域調査では、橋（地点A）や特徴的な景観を持つ商店街（地点B）といった目印を基準に、地形図上の記号と実際の土地利用を照らし合わせる読図の技能が求められます。地点Bのような細い路地が入り組んだ地域は、計画的に整備された新市街地ではなく、古くからの歴史を持つ居住区であることを示しています。
問7	答え 3 千葉県	千葉県は東京湾沿いの埋立地を中心に、石油コンビナートや化学工場が集積しており、京葉工業地域を形成しています。そのため、全国と比較しても石油・石炭製品や化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。一方で、神奈川県は京浜工業地帯に属し輸送用機械が盛んであるなど、県によって産業構造が大きく異なります。
問8	答え 4 大消費地に近い利点を活かし、鮮度が求められる作物を効率よく供給できるため	関東地方は日本の総人口の約3分の1が集中する関東平野を有しています。野菜は穀物などに比べて鮮度劣化が早いため、消費地のすぐ近くで生産して迅速に出荷できる近郊農業のスタイルが、高い農業産額と野菜の比率に繋がっています。
問9	答え 2 この河川は、日本で最も広い流域面積を持ち、広大な関東平野の農業用水や都市用水として利用されている。	流域面積とは、その河川に雨水が流れ込む範囲の面積を指します。利根川は日本最大の流域面積を誇り、日本最大の平野である関東平野を流下しています。そのため、流域に住む多くの人口の生活用水や、広大な耕作地を潤す農業用水を供給する極めて重要な役割を担っています。なお、日本一長い河川は信濃川（367km）ですが、流域面積では利根川が上回ります。
問10	答え 1 入居時期が地域の出生数のピークと重なり、子供たちのための学校建設などが急ピッチで進んだ	高度経済成長期から1970年代にかけては、都市部への人口集中を背景に郊外のニュータウン開発が最も盛んな時期でした。18歳で上京した若者が結婚を経て1970年代半ばに入居するという流れは、当時の典型的な人口移動のパターンを示しています。この時期はニュータウン内での出産が相次ぎ、出生数がピークに達したため、教育施設や公園といったインフラ整備が急激に求められる社会状況にありました。
問11	答え 3 飲食品の販売額は人口規模に比例する傾向があるが、千葉県は東京湾岸に石油化学コンビナートが集中する京葉工業地域を有しているため。	飲食品の小売販売額は、その地域の消費市場の大きさ（人口規模）に比例するため、人口の多い神奈川県や埼玉県が千葉県を上回ります。一方で、工業面では千葉県の東京湾岸に京葉工業地域が形成されており、国内最大級の石油化学コンビナートが集積していることから、化学工業製品の出荷額が関東地方の中で際立って高いという産業構造上の特色が生じています。
問12	答え 3 足尾銅山	足尾銅山は栃木県に位置するかつての銅山です。明治時代には最新技術の導入により日本最大の産出量を誇り、外貨獲得によって日本の近代化に大きく貢献しました。しかし、精錬の過程で発生する有害物質が渡良瀬川に流れ込み、農作物や漁業への被害だけでなく、住民の健康被害を引き起こす深刻な公害事件へと発展しました。
問13	答え 2 冬は南東の海側から吹き込む湿った季節風の影響で、平野部でも毎日多くの降雪が見られる。	栃木県の冬の気候は、南東（海側）からではなく、北西（山地側）から吹く乾燥した季節風によって決まります。そのため、冬は雨や雪が少なく乾燥した晴天の日が続くのが一般的です。選択肢にある「いちごの栽培」は、この豊富な日照時間を有効活用した施設園芸農業の代表例です。